

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信

2022-2023

No.1 (通巻85号)

2022.9.1発行

■ 目次	吉田東伍記念博物館 館長 挨拶 / 開館25周年記念 市民文化講演会のご案内	1
	令和4年度友の会総会報告 / サークル「友の会・天文部」活動報告	2
	会員随想 / 友の会伝言板(その1)	3
	開館25周年記念企画展 / ミニ研修旅行のご案内 / 友の会伝言板(その2) / 編集後記	4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1(阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

H P <https://togo-tomonokai.com/> **E-mail** info@togo-tomonokai.com **Twitter** @y_togo

吉田東伍記念博物館開館25周年を迎えて

阿賀野市立吉田東伍記念博物館 館長 羽田 正佳

吉田東伍記念博物館は令和4年9月17日をもって、開館25周年を迎えることになりました。この節目の年に、館長として在任させていただいていることを誠に光栄に思っており、友の会の皆様とともにお祝いできますことを大変嬉しく思っています。

ここ数年の厳しいコロナ禍にあって色々な行動が制限される中、友の会におかれましては、組織的にも財政的にも館から独立している自主組織であるにもかかわらず、館活動のソフト面の運営をボランティアでサポートし続けていただいておりますことに、あらためまして御礼を申し上げます。

当館もコロナ禍の影響により、残念ながら思うように事業を展開できない状況が続いておりますが、感染拡大の影響を見定めながら、対策を十分に行ったうえで、いま以上に阿賀野市民に愛される博物館として事業を展開していければと考えています。

開館25周年を迎えるこの年に、3年ぶりの企画展開催をはじめ様々な事業の再開を計画しており、今後も吉田東伍博士を生み育んだ郷土への愛着と誇りを持つことができる大切な文化施設として、博士の偉業を後世に伝えるよう取り組んでまいります。

吉田東伍記念博物館は、友の会の皆様をはじめ博物館協議会や資料の寄贈者・寄託者各位など、博物館を支えてくださる多くの人に支えられて成り立っています。これからも皆様方との信頼関係をさらに強固なものとし、なお一層の努力を重ね励んでまいりますので、今まで以上に助言や指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開館25周年記念 市民文化講演会

『古地図と地形図から読む阿賀野』－洪水に^{ほんろう}翻弄された村々－

日 時 令和4年 10月23日(日) 14:00～16:00 (13:30開場)

会 場 安田交流センター 風とぴあ (阿賀野市保田 1756-1)

講 師 金森 敦子 氏
(歴史家、ノンフィクション作家)

参加費 無料 定 員 60名 (先着、要申込)

申し込み

10月16日(日)までに吉田東伍記念博物館へお申し込みください。

令和4年度 友の会総会開催報告

令和4年度総会は、5月22日午後1時30分から市立吉田東伍記念博物館（吉田東伍生家）で開催されました。議事は、長谷川明一友の会会長、そして、羽田正佳博物館館長のあいさつ後に、長谷川会長を議長として進行しました。令和3年度事業報告・決算報告（会計監査報告）、令和4年度事業計画・予算案について慎重審議の結果、原案どおり承認されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意のうえ、今年度の行事等を実施していく予定です。会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（友の会事務局）



○令和3年度事業報告

期 日	内 容
5月23日（日）	令和3年度 吉田東伍記念博物館友の会総会
そ の 他	・総会以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事の開催を中止。 ・3月に公式ホームページのリニューアルを行った。

サークル「友の会・天文部」 活動報告 星空への招待2022を 開催しました！

今年は春から秋口まで、土星や木星などの惑星が深夜帯にしが見ることが出来ないため、月面中心の観測になりました。天候などの条件により開催も危ぶまれましたが、ここまで2回ほど開催することが出来ました。今後もチャンスがあれば、随時開催します。
（責任者：廣田正博、Twitter @astro_togo）

1回目 7月9日(土)
会場：阿賀野川床固め公園（秋葉区万願寺地先）
（計16名参加）

今年初めての試みで、市外の公園に行ってきました。テントを張ってキャンプしている家族連れや、散策中の皆さんから楽しんでいただきました。

2回目 8月6日(土)
会場：安田ショッピングセンター・ウインディ店頭
（計27名参加）

初めて天体望遠鏡を覗く人がほとんどでしたが、お一人だけ「30年ほど前、安田町公民館事業の天体観測会に、子供とよく参加しました。それ以来です」と話す女性がいらつやいました。

そのときの担当はもちろん私です。お互い顔も名前を覚えてはいませんが、ちょっと嬉しい再会でした。



阿賀野川床固め公園にて（7月9日）



ウインディ店頭にて（8月6日）

会 員 随 想

「ちあき」の会会長・友の会会員 新 藤 幸 生

いつも温かく応援を頂きありがとうございます。私ども「ちあき」の会は新潟市の宝物（本当は県の、国の宝物と呼びたい）「吉田千秋とひつじぐさ」を広く知っていただくために、平成13年（2001）11月3日に設立総会を開催、活動を始めました。あの日から、なんと20年という時間が流れました。

この間、吉田東伍記念博物館友の会のみなさまには様々な場面で応援を頂きました事、この場をお借りして御礼申し上げます。活動を通じ「周航歌」の誕生した滋賀県今津町や作詞者の故郷長野県岡谷市の関係されるみなさまとの交流も深まり、研究家・元NHKアナウンサー飯田忠義さま、歌をヒットさせた加藤登紀子さまはじめ多くのみなさまからも背中を押していただく等、活動も充実したものとなりました。



途中には原曲「ひつじぐさ」が当時の音楽雑誌に投稿されてから100年という節目を迎え「千秋100年物語」として盛大な記念のイベントを行うことが出来ました。さらには「琵琶湖周航の歌」も誕生から100年を迎え、滋賀県と新潟県とで連携したイベントも取り組まれ、秋葉区文化会館を会場に加藤登紀子さん

のコンサートを企画、新潟県知事はじめ新潟市長、秋葉区長等豪華ご来賓をお迎えし、盛大に行うことができました。

これまでの20年を振り返り、様々な資料、お手紙など整理しておりましたところ、なんと多くの皆さまから“膨大な応援と温かい励まし”を頂いていたことにただただ感謝するとともに、まさに「育てて頂いた」20年であったと感じております。



友の会伝言板 その1

- 「ちあき」の会様より『琵琶湖周航の歌・原曲 ひつじぐさ「ちあき」の会、活動20年の記録』を友の会会員全員分ご寄贈いただきました。「友の会通信」に同封しましたので、貴重な市民活動の記録として、そして、当会の活動の参考資料として活用させていただきます。あらためて、御礼申し上げます。

「長井一禾とその息子大有」展

ーカラスざんまいの日本画家と夭折の帝展入選画家ー

博物館開館25周年を記念し、吉田東伍、市島春城とも接点があり、明治後期～大正期に活躍した阿賀野市（旧水原町）出身の日本画家、長井一禾（いっか）とその子大有（たいゆう）の作品を紹介します。

会 期 令和4年10月8日(土)～令和5年2月26日(日)

会 場 市立吉田東伍記念博物館 2階 研修室

入館料 博物館入館料(一般300円、小中学生150円) ※友の会会員は無料

≡≡≡研修旅行「阿賀野市歴史民俗資料館を訪ねて」

昨年開館した阿賀野市歴史民俗資料館の企画展「縄文人と算数・数学」と常設展示を見学します。

日 時 / 令和4年 9月19日(月・祝) 10:30～12:00

集合場所(現地集合) / 阿賀野市歴史民俗資料館(阿賀野市福永910、旧山手小学校校舎)

定 員 / 20名(先着、要申込)

参 加 費 / 無 料

申し込み / 前日までに吉田東伍記念博物館へお申し込みください。

友の会伝言板 その2

- 新規会員を募集しています！ご近所、ご家族、ご友人に入会のお声がけをお願いします。
- 原稿を募集しています！『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、友の会行事への参加及び博物館へのご来館の際は、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。発熱や咳などの症状がある方は参加・来館をお控えください。



「吉田東伍生誕之地碑」近影
(令和4年7月31日撮影)

編集後記／

今年度は博物館開館25周年、来年度は友の会設立25周年です。市民協働で歩んできた博物館活動が早いもので四半世紀を迎えます。新型コロナウイルス感染症、豪雨災害と試練は続きますが、人と人が連携・連帯することで何か光明が見えてくるはずです。年度の始まりにあたり、会員の皆様と手を携えて、活動を再構築することを運営委員一同であらためて心に期しています。

(事務局T)